

視察報告

第1常任委員会

11月16日 滋賀県東近江市

○認定こども園について

土岐市では幼保一体化した「認定こども園」を整備することとなりました。そこでこれまでに幼保一体化した施設を6園整備してこられた東近江市でその実態を視察させていただきました。移行時には、保護者への対応、料金の改定、地域への説明、職員の待遇と意識改革など様々な問題が発生しますが、時間をかけても丁寧な説明が必要なこと。施設面では屋外でも屋内でも、子どもたちが体を動かせる十分なスペースを確保することなど、有意義な視察でした。



△東近江市（蒲生幼児園）



△橿原市（子ども総合支援センター）

11月17日 奈良県橿原市

○子ども総合支援センターの取り組みについて

「子ども総合支援センター」を運営され、障がい児、保護者への充実した訓練、指導に取り組んでいる市です。教育支援課としては、各種の相談事業を通して、障がいの早期発見をめざし、少しでも早く自立できる支援を目指していました。療育課としては多くの療法士を活用して、専門的に自立の支援を実施していました。同時に保護者への個別相談や保護者グループ会の実施など親への支援も積極的に進められていました。

第2常任委員会



△泉佐野市（大木小学校）

11月16日 大阪府泉佐野市

○小規模特認校制度について

小規模特認校の特認校とは特色ある教育活動を展開している学校を特認校に指定し、その教育環境の中で子どもを学ばせたい、学びたいという保護者および児童に対して、一定の条件を付して通学区域外からの通学を認めるものです。この制度により、生徒一人一人に合わせた個別対応がとりやすくなり、いろいろな個性に合わせて指導が可能となります。不登校の児童の対策にも活用されるなどいろいろな意味で非常に有効かと感じました。

11月17日 大阪府池田市

○「教育のまち池田」の取り組みについて

池田市は小中一貫校を積極的に進めており、9年間継続した方針で進めることができます。小学校中学校と従来通りのしっかりとした区切りがあるわけではありませんので、生徒の年齢に合わせて余裕をもって指導することができ、非常に有意義であると感じました。土岐市は小中学校が別々の場所に建設されています。しかし小中学校の交流を密にするなど、今の体制でもできることはあると思いますので、できることからまずは進めたいと感じました。



△池田市